

会 報

平成16年9月15日

てんりゅう



ワールドガーデン・コンペティションにて



モネの庭にて

会報てんりゅう 第80号

(社)天竜建設業協会 天竜市二俣町鹿島491-5 ☎(0539)26-1562
編集・発行 広報委員会 題字 秋山錠介 FAX(0539)25-6468
電子メールアドレス tenryu@aqua.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>

特集 市町村合併

- 都市軸
- 都市拠点
- 都市機能集積ゾーン
- 産業・観光振興ゾーン
- 森林活用・保全ゾーン



北遠地域

森林活用・保全ゾーン
として位置づけ。

天竜川・浜名湖地域合併協議会の動き

天竜川・浜名湖地域十二市町村では、政令指定都市の実現めざして、市町村合併の話し合いが進められています。その話し合いの組織が、合併協議会であり、各市町村三名（首長・議会議員・学識経験者）と市町村にとらわれない学識経験者六名の計四十二名で構成され、月一回、公開で開催されています。今回は、第十一回（八月九日）開催までの経過及び結果についてお知らせします。

三 新市の名称

十二市町村の住民による公募の結果を尊重し、「浜松市」と決定。

四 新市の事務所の位置

現在の浜松市役所とする。浜松市を除く十一市町村の市役所及び役場は、総合事務所として、市民サービスを提供することになる。各総合事務所には、最高責任者として所長が配属されるが、一般行政職員であり、その任命権者は浜松市長である。

五 職員定数及び任期

浜松市の議員四十六名は、そのままに任じ、十一市町村の議員は、平成十七年六月三十日付で失職する。新たに、旧市町村毎に定数（十九名）を定め、選挙を行い、合計六十五名でスタートする。

任期は平成十九年四月三十日までとなる。政令市移行後に想定される選挙では、法定上限定数の五十六名以下とし、行政区毎に選出する。

六 区割り案

新市域を七分割し、天竜市・春野町・龍山村・佐久間町・水窪町は、同一行政区として、合併時の新市建設計画では、「森林活用・保全ゾーン」と位置づけられている。

七 地域自治組織

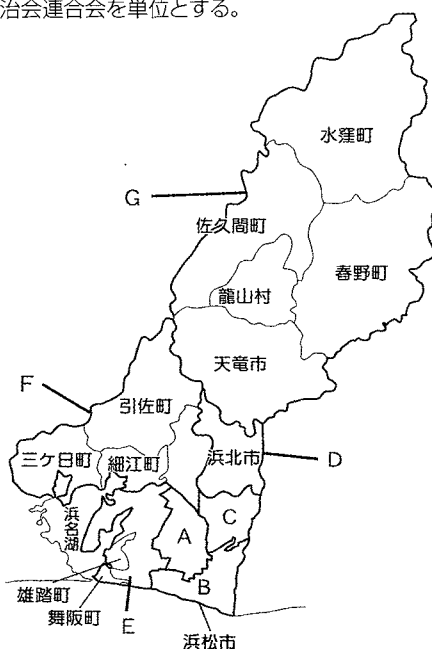
旧市町村単位に地方自治法の「地域自治区」を設置する。この地域自治区には、市民の声を行政に反映したり、まちづくりの協働の場となる地域協議会が置かれる。議決権はないが、行政と市民とのパイプ役となる組織である。

環境と共生するクラスター型都市

※クラスター＝ぶどうの房

各ゾーンは、地域の特色を最大限に活かしながら、ゾーンの役割に基づいて相互の連携を図り、新市全体の一体的発展と拠点性の向上を目指します。

「天竜川・浜名湖地域12市町村が合併」



		(単位:人、km ²)	
区	構成市町村	人口	面積
A	浜松市の一部	241,355	43.93
B	浜松市の一部	101,229	47.55
C	浜松市の一部	120,020	45.99
D	浜北市	84,905	66.64
E	浜松市の一部、舞阪町、雄踏町	103,724	85.62
F	浜松市の一部、細江町、引佐町、三ヶ日町	93,945	277.58
G	天竜市、春野町、佐久間町、水窪町、龍山村	41,128	943.86
		786,306	1,511.17

The timeline illustrates the process of becoming a designated city, starting from April 2016 and ending in April 2019. The process follows these steps:

- 平成16年 4月**: 合併協議 (Municipal Merger Agreement)
- 合併協定書の調印 (12月下旬まで)** (Signing of the Merger Agreement (by late December))
- 各市町村議会での議決 (12月下旬～1月上旬頃)** (Decision by all municipal assemblies (late December to early January))
- 県知事への申請** (Application to the Prefectural Governor)
- 県議会の議決 (3月)** (Decision by the Prefectural Assembly (March))
- 総務大臣への届出 (3月下旬)** (Notification to the Minister of Internal Affairs (late March))
- 総務大臣の告示 (4月)** (Minister of Internal Affairs's Proclamation (April))
- 7月1日 新市誕生** (New City Birth on July 1st)
- 政令指定都市移行準備** (Preparation for Designated City Transition)
- 閣議決定** (Cabinet Decision)
- 政令の公布** (Proclamation of the Order)
- 平成19年4月 政令指定都市の誕生** (Birth of Designated City by Order in April 2019)

静岡県は、市町村の合併の動向を見極めた上で、合併による市町村規模・能力の拡大に応じた権限移譲や行政組織の簡素化、効率化など行政改革を進めるとして、基本的な方針をとりまとめた。

◆基本方針に示された北遠地域にある県の機関

一、北遠県行政センター

合併による市町村の広域化に対応した簡素で効率的な行政組織を構築するため、県内九地域にある同センターを平成十七年

出先機関見直しの基本的な方針

新たに県民生活センター（仮称）を設置して、県民・消費生活・労働・相談、旅券発給等については、サービスの内容に応じた効果的な提供体制を整備する。

二、北遠健康福祉センター

天竜川・浜名湖地域の合併により、保健所及び福祉行政の事務の大部分を新たな中核市に移管することから、北遠及び西郡健康福祉センターを平成十七年度に廃止する。

三、北遠農林事務所

新市と連携して農林事務所業務を効果的に行うため、北遠農林事務所を西部農林事務所に統合して、平成十七年度に天竜支所を設置し、水窪支所は廃止する。

四、天竜土木事務所

新市と連携して土木事務所業務を効果的に行うとともに、新市の政令指定都市移行に伴う県道管理等の事務の市への移管に対応するため、天竜土木事務所を浜松土木事務所に統合する。あわせて、天竜土木事務所三支所（春野、佐久間、水窪）を廃止し、平成十九年度に天竜支所を設置する。

行ってきました

町村の出展作品



高さ50mのきらめきタワー最上階からは花博会場を360度見渡せます。北側のデッキは床がガラス張りなので厚い日には最適?!
きらめきタワーには1日に1300人もの人が登るそうです。

ジュラシックツリー

地球上に未だ生存している小さな恐竜を発見することに匹敵する」といわれている1億5千万年前の種に属するジュラシックツリー。
今回の取材では、「これだけを見にきた!!」と満足げに語る方もいました。



花博を満喫!!

「花博へ行ってきました」の一行です。
会場が広くて何から見て…とまよっばかりでしたが、満開の花に感激の一言でした。



花満開のアイランド誕生

5月26日、天竜建設業協会広報部7名で浜名湖花博へ出かけました。今回は「花・緑・水」新たな暮らしの創造」をテーマにした、北遠地域の5市町村の出展作品を取材しました。
真夏を思わせるほどの陽気に恵まれ、各々「日頃の行いが…」と口ずさみながら園内を見学しました。
花博会場を初めて訪れ、その規模の大きさと、気候や風土の異なる各国の花達がこの土地で見事に咲いていることに、感心しました。
そして何よりも、ふと見上げた景色には高いビルや、絡まりあつた電線などという視界を遮るものがなく、ただ浜名湖の青い海と青い空が広がるばかり。この場所を選んだことも、花博の演出の一部なんだなあと感激しました。夕暮れ時には日中の爽やかなイメージとはまた違った表情を見せる花博会場に、後髪を引かれながら帰路につきました。日々の喧騒を忘れ、年甲斐もなくはいやいだ1日でした。この晩のビールは最高に美味しかった!



イメージキャラクター ～のたねくん

人は誰でも大きな可能性をもつ「～の種」であるというメッセンジャーとして花博のイメージキャラクターを務めるのたねくん。
会場では様々な変身するのたねくんを探すのも楽しいですよ。



天竜市

100人の
子供たちが演劇化

去る7月19日には「天竜市の日」として、水辺の劇場内で天竜林業高生による杉の間伐材で作ったバイオリンによる楽器演奏会が催されました。

また、観客を沸かせたのは、市が主催した「森林（もり）のまち童話大賞」の第1回大賞作「机のなかの竜の森」の初披露には総勢100人の子供たちが熱演を繰り広げ、会場から大きな拍手が送られました。



「浜名湖館フルレ」内に天竜市のブースが出展されています。

森林年宣言のまち天竜市・森林は水を育む命の水をコンセプトに、天竜市の豊かな自然をPRするとともに、森林の水源涵養機能、公益的機能、森林資源の保護・活用などの説明があります。

その他にも秋野不矩美術館や二俣城、ボートのまち等の情報も発信しています。

好評開催中
あと
1ヵ月です



龍山村

ほっとびあ
たつやま



中央に天竜川が流れ、自然に恵まれた龍山村。美しい龍山の景観を青石を使って、人々が心安らぎホッとする村「たつやま」を表現しました。

春野町

春野の太鼓が
ステージに轟く



6月13日「春野の日」のイベントが開催されました。ステージでは、秋葉太鼓保存会による迫力ある「天狗太鼓」や犬居小学校の生徒とオーケストラによる「はるの交響曲」が観客を楽しませました。

佐久間町

山里からの
贈り物



豊かな自然、歴史と民話が今も残る町。佐久間は今も清流と澄んだ空気と山里からの贈り物でいっぱい！

水窪町

「自然と歴史
との調和」



水と緑と伝承の里、みさくぼを見事に表現していた。町の中央を流れる水窪川をはさみ、対岸に戦国時代の名残りをしのぶ「高根城」を配し、緑濃い森林内には、七年に一度だけ水を貯えるという遠州七不思議に数えられる「池の平」を模した風影を作り出している。自然と歴史との調和をテーマに役場職員がデザインし、地元花の会の皆さんが製作した「ふるさと小景」である。

「マムシにご注意

もしもの時の対処法

教えます」



「症状」

*

二つのマムシの牙による傷が特徴です。噛まれた所の痛みと、皮膚の下に出血が起こり、皮膚が赤褐色に変色。症状が進行すると、頭痛、吐き気、下痢を起こし、ショック状態になる事があります。

「応急方法」

*

① マムシに噛まれて気が動転して動き回るのは、毒の吸収を早めるので安静を保たせる。

② 噛まれた場所より心臓側の手足を4〜5cm程の幅で折った三角巾やタオルなどで軽く縛る。ただし、強く縛ると逆効果です。

③ 傷口から毒を出す場合は感染防止の為、手当をする人の両手を清潔なビニール袋などで覆い、直接、血液に触れないようにしてから、手の指を使って傷痕から血液を絞り出す。口で吸うと、口の中の傷から毒が吸収される事があるので、行わない。

④ 一番は、速やかに、医師の診断を受けるようにする。

以上、もしもの時に、活用下さい。できれば、山、畑に入るときは、川辺に注意する、棒などで辺りをたたきながら入るなど、マムシさんにご対面しない事がいいようです。

(N・M)



『サレー安全パト』

乗松建設(株)

乗松 敬 貢

日頃、天竜建設業協会の労働災害防止活動については、会員の皆様をはじめ関係機関のご協力に対して、天竜防災安全指導員一同感謝申し上げます。

今年度に入りまして、当管内で四月に、残念ですが転落による死亡事故が発生しており、二度と繰返すことのないようパトロールを一層強化していきたいと考えています。

私達安全指導員がパトロールすると、現場ではどうしても煙

ルールを守る職場「へん」

たい存在で見られたり、うるさがる人が多いものです。また、勉強になるから、「もつと現場に来てくれ」と言う会員もあれば、現場へ行くという連

絡をすると、「休工している」と言う会員もたまにあります。

現場で死亡事故のような重大事故がひとたび発生すれば、その管理責任、社会的責任が問われ、さらに指名停止等、会社の存続

にも関わって来ます。

会社及び作業現場で、ルールを守る職場作りと、危険を予知する人づくりによって、安全活動を着実に実行していただき

いと考えています。パトロールは、年十二回行っていますが、その内の六回が労基署等、関係機関を含めたパトロールです。

作業する一人ひとりが、作業の中に潜む危険を見つけ出し、責任を持って対策を打ち、行動することが大切だと思います。

これから先、市町村合併、公共投資の縮減、経費節減等難しい問題が山積みですが、皆様のご繁栄と安全第一で工事施工が進められることを、切に希望しております。

最近のキーワード



パブリック・プライベート・パートナーシップ(官民協力)の略。民間資金を活用した社会資本整備PFIが一般的になる

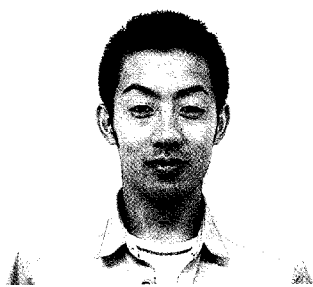
中で、もう一歩進んだ形で、事業の企画から民間資本ノウハウを取り入れ活用とする「新たな官民協力」として注目を集めている。

行政が行う公営事業、たとえば水道、ガス、交通事業に民間企業が計画段階から参加、民間企業が持つ運営、コスト管理などのノウハウを活かして行うというもの。

財政難に頭を痛める各地方自治体にとって、民間資金を活用し、コストダウンできるとあって、渡りに船。

既に一部の市町村で、水道事業などで採用され始めている。国も、環境整備を始めており、市町村合併を見込む浜松市などでも、政令指定都市を目指す中で、検討課題として浮上している。

PPP (パブリック・プライベート・パートナーシップ) 官民の新しい協力



地域発展に努力

かん
とく
さん

天竜市役所 土木課
技士 鈴木 俊伯

今年の4月に人事異動で土木課に配属となりました。天竜市職員として採用されて13年目となり、最初は土木課に4年、次に農林課5年、上下水道課3年と経験してきました。

そして新規採用1年目と同じ土木課に戻ってきたわけですが、「初心を忘れず」今までの経験を生かしながらも新しいものを取り入れていこうという気持ちで毎日を過ごしています。

仕事の内容は主に、市道の改良工事を担当しています。工事が地元生活に密着しており、効果がすぐに形となって現れるので常にプレッシャーも多いですが、その分とてもやりがいをもって仕事に臨むことができます。

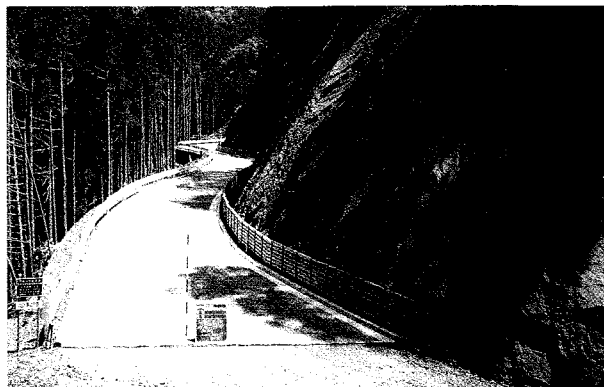
来年度には、市町村合併があり、自分を取り巻く環境も変化していくとは思いますが、よりよい地域を目指す心を忘れず、頑張っていきたいと思っています。

最後に関係する皆様と、これから地域発展のため努力していきたいと思っております。よろしくお願ひします。

建設チャラー

工事名／平成15年度流域循環資源林整備 高森山1工区工事

工事箇所 磐田郡水窪町地頭方地内
工 期 平成15年10月1日～平成16年6月30日
発注者 静岡県北遠農林事務所
施工者 正光建設株式会社
工事概要 施工延長L=140m
切土V=4085m³
鋼製L字型擁壁L=81m
補強土壁工213.6m²
コンクリート路面工675.2m²



高森山1工区

コメント

本工事は平成2年から18年間の計画で総延長は4.7kmあります。林道路網の整備が遅れ、林業経営に多大な労力を要している当地域においては、林道整備の推進は重要課題となっています。健全な森林が維持造成され森林の多目的機能の発揮につながる為、日々努力しております。

事務局だより

◎優良工事(株)西村組

優良技術者(株)神田組の中根齊さん

に輝く!!

去る七月二十七日、平成十六年度静岡県土木部・都市住宅部優良土木工事等部長表彰式が行われ、優良工事対象九社のうち当協会からは、(株)西村組が晴れある栄誉に輝きました。

また、優良技術者七名のうち、(株)神田組の中根齊さんが、卓越した技術力を認められました。

◎「市町村合併」と「県の組織の見直し」に対し陳情

理事会は、二回に渡るけんけんがくぐの議論の結果、市町村合併及び県の出先機関の見直しについて、次の陳情内定を決定して陳情書を提出しました。

一、市町村合併について

(一)地域に密着した建設業者が、円滑かつ効率的な施工が期待できる工事は、積極的に地元業者に発注願ひたい。

また早期発注、的確な設計変更等に応じてもらうために、区割り案に示される北遠五市町村の枠組において、入札・発注に係る事務権限を分離付与してい

ただきたい。

(二)平成十七年四月から合併時期までの準備期間、新年度工事発注までの空白時期を大変心配しており、円滑な発注をお願いしたい。

二、県の出先機関見直しについて

一、地元建設業者の技術により、円滑かつ効率的な施工が期待できる工事は、積極的に地元業者に発注をお願いしたい。また早期発注、的確な設計変更等に応じてもらうために、支所へ入札・発注に係る事務権限を分離付与していただきたい。

(二)現場の変化に対応した指示を受けたたり、協議事項に対する迅速な回答を受理するために、現庁舎位置での業務継続をお願いしたい。

三、陳情日及び陳情先

〇七月二十六日 北遠農林事務所長

〇八月二日 北遠五市町村長

〇八月三日 環境森林部長

〇八月六日には、私達の要望や地域の要望を受けて、北遠五市町村長が県に対して、出先機関の見直しについて、陳情しています。市町村合併については、今後の合併協議会の中で、私達の要望を活かしていただきたいと考えています。



My Family

村松建設(株)
村 松 繁



我が家の家族を紹介します。
私達夫婦そして新社会人となつた長男、有19才。
今は修行の身にて天龍土建さんにお世話になり早4ヶ月。この暑さでそろそろ弱音が出る頃かなあと思いきや、高校野球で少々鍛えた身体で現役の時よりも一段とたくましくなりつつあります。(?) 最近新しい彼女がで



”日々勉強あるのみです”

春野建設事業(協)

久保

文 さん

私が春野建設に入社して、二回目の夏が過ぎようとしています。昨年の春、「初めての仕事」という

私、毎日がとても楽しく仕事をさせていただいています。しかし、仕事の内容に慣れたかと聞かれ

確な仕事を心がけていきたいです。私は他の部所に届け物をしているのが好きです。ずっと机に向かって

し約10年に及ぶ野球尽くしだった日々、幕を降ろしました。この時ほど、もう1人息子を産んでくれたらもう少し楽しめたのにと男親の本音がチラホラ・・・!!

野球を通して、それぞれの高校の父母とも本当に仲良くさせていたでいていけるのも、子供達として妻のお陰。野球をやっていたくて本当にありがたいです。これからは、夫婦2人ゆつくりと時間をすごしていきたいですね。

「子供達の野球と共に」

春ルン目にはギラギラ毎日が仕事以上に充実している様子です。
次男、鉄平17才。浜工野球部でこの夏の大会ベスト8をかけた試合で、惜しくも我が母校翔洋に9回2死からの逆転サヨナラ負けをし、親子共々涙を流

言い合っています。子供達2人が高校野球を始めてから、妻自身、毎日が朝4時台に起きる日々。
「1日でもいいからゆつくり寝たい」が口ぐせだった妻も、鉄平の野球が終わった時「もっとやっていて欲しかった」と泣きあか

お伊勢参り

大橋幸子

先日、伊勢を旅してきました！一番の目的は、お伊勢参り！実は、数年生きてきて(笑) まだ、足を運んだことのない場所です。昔から、「一生に一度はお伊勢参り」と言う様に、一度は行ってみたい場所でした。

やっと念願叶い、いざ！伊勢神宮へ！玉砂利を踏み、五十鈴川のせせらぎに耳を傾け、大きな杉の木、たくさんさんの自然に触れ、神聖な空気が漂う外宮・内宮・別宮(月讀宮)をお参り。

二礼、二拍手(お願い事)、一礼。自分の奥深くにある何かが浄化される様な、心引き締まる不思議な気持ちになりました。

その後は、伊勢の人々が自然の恵みに感謝し、日々、おかげさまの心で商いをしている「おかげ横丁」に立寄り、伊勢の魅力たっぷりのお店を散策！伊勢の名産品、歴史や風習、人情に触れ楽しい時間を過ごす事が出来ました。

無事、お伊勢参りが出来た事に感謝し、今生かされてい

る事を幸せに思い、一日一日を大切に過ごしたいと思

